

## 【入選】

# 世界の大切な水を未来へ

気仙沼市立唐桑中学校  
二年 千葉 梨璃衣

「水、それは私達にとつてどのようなものですか？」と聞かれたらあなたはどうか答えるでしょう。

朝起きたら、顔を洗う。料理をするため、野菜を洗う。服をきたら、洗濯をする。汚れたら、お風呂に入る。トイレに行く。こういった日常生活のさまざまなことに水は関わっています。今までの私は、水を出しっぱなしにする等、水の無駄づかいをしていました。そんな私に水の大切さを教えてくれたのは、父の注意により水について調べたことがきっかけでした。私達日本人は、水道の蛇口を捻るだけで簡単に、しかもすぐに透明で綺麗な水が手に入ります。昔と違い、はるかに便利な暮らしであることがわかります。

しかし、現代を便利で水に恵まれた時代と言っているのでしょうか。そうは言い切れないはずです。世界には深刻な水問題を抱える国があるからです。不衛生な水は、コレラ、赤痢、A型肝炎、腸チフスといった、感染症の伝染と関連しています。世界人口の半数が水道を使えるようになったと言われていますが、未だに六億六三〇〇万人の人が、今も安心して飲める水を確保できていない状態だそうです。特に水を確保できていない地域の半数近くはサハラ以南のアフリカです。

子供たちの四十三%が不衛生な水を飲み、五人に一人が十五歳になる前に亡くなってしまいます。水道施設などインフラが整備されておらず、すぐに水が手に入らない状態のため、村の人々は近くにある水源で、水汲みをしなければいけません。そのため安全で無い十分な水が手に入らず、多くの子供たちが学校へ通えても授業に集中する事ができません。

私達の同じ年齢の子が水問題で苦しんでいる事が分かりました。そして、清潔な水をありがたく感じ大切にしようと思いました。

私達が水の為に出来る事は、まず水を汚さない事だと思います。具体的には、お風呂の残りは再利用。皿についた油やソースは先に拭き取り、洗剤の使用量を減少する事です。

現在の日本の食料自給率は四十七%、残りの五十三%は輸入しています。食料自給率は水に大いに関係しています。農作物、材料を育てるためにはたくさんのお水を使います。そのため水の使用量はとても多いのです。なお、日本の一年間の残飯量は約五百万トン近くです。これは世界の水を無駄づかいをしているということなのです。水を十分に使うことができない国もある中、水の無駄づかいは絶対にやめなければいけない事だと思います。家族全員で食事をする事、好き嫌いをなく食べる事も水の有効活用になると私は思います。

このような事を、一部の人のだけでなく、多くの人が実践していけば水に与える影響は小さいはずです。実践させるために、多くの人が水に関わりを持つことが必要だと思います。私は、記事では地球温暖化しか、水の記事を見たことがないため、記事を使い水の大切さを宣伝すれば良いと考えました。

「水」それは、私達が生きていく上でなくてはならない必要不可欠なもの。一人一人が意識し、心がけることが大事。大きなことはできなくても、ささいなことから、少しずつ実行していけばいい。

ただ、水は失ってからでは遅い。水道から出てくる透明な水を、世界中の人達に、未来へと届けたい。私が始める小さな取組を広め、豊かな水資源と水環境を未来へ繋げたい。